

近畿大学 認知症 Core 研究 (DoIK) 第 1 回シンポジウム アミロイド・タウイメージングでのアルツハイマー病診断から 在宅支援に向けて

近畿大学では 2015 年度より、総合大学としてのスケールメリットを活用した研究教育体制を推進するために、学部横貫での研究体制 Core 研究制度の整備に着手しております。この下で、認知症に対する Core 研究「認知症高齢化社会の質向上のための医工文理認知症研究 (Dementia oriented Initiative in Kindai; DoIK)が研究活動に入りました。

そこで、認知症・アルツハイマー病(AD)に関する研究の現状を概括するとともに、DoIK の初年度での研究成果を紹介するために本シンポジウムを企画致しました。

認知症の中でも AD は、PET や MRI を用いた画像診断の可能性が検討されてきており、近畿大学医学部附属病院 早期認知症センターでは、AD の病因物質であるアミロイド β を対象とした画像診断(アミロイドイメージング)を実施しておりますが、2016年度からは、AD のもう一つの原因物質として最近注目を浴びておりますタウタンパク質を対象とした PET 撮像を開始すべく、準備を進めております。

これに合わせまして、近畿大学医学部附属病院 早期認知症センターの石井 一成からは認知症に対する画像診断について、国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センターの加藤 隆司先生から、AD 画像診断の基礎となるバイオマーカーと AD の病態について、更に東北大学 脳科学センターの岡村 信行先生からは、タウイメージングのための PET プローブについてご講演頂きます。また、AD の画像診断では PET の定量性を活用する必要がありますので、DoIK の成果の一端として、アミロイドイメージングに対する PET 定量解析アルゴリズムの開発について、近畿大学生物理工学部の木村 裕一が報告致します。

認知症は長期に及ぶ経過を取ることから、看護・介護を支援するための機器の普及が重要となりますし、また、在宅介護にまつわる地域社会の体制構築も必要です。そこで、支援機器の開発の現状について、富山大学大学院理工学研究部の中島 一樹先生よりご講演頂いた上で、癌や認知症に対応する家族のありようについて検討しておられる近畿大学総合社会学部の塩崎 麻里子先生から、認知症患者の家族に対する心理社会的支援に関する探索的研究についてご説明頂きます。最後に、南河内地域をフィールドとして認知症に対するケアの社会体制の構築を実際に進めておられる近畿大学医学部附属病院 早期認知症センターの花田 一志先生から、その現状や問題点について話を伺います。

尚、ご参加いただける先生方におかれましては、恐れ入りますが、木村 (ukimura@waka.kindai.ac.jp)宛に、お名前、ご所属、参加予定の人数をお知らせ頂ければ幸いです。これは、会場を準備する都合から参加人数を把握することが目的でありますので、お申込を頂かなくても、ご出席に支障はございません。

認知症、或はADの最新の研究動向についての、医工文理を総括した議論ができればと考えておりますので、ご参加頂けますようお願い申し上げます。

近畿大学医学部附属病院 早期認知症センター
教授 石井 一成

近畿大学 生物理工学部
教授 木村 裕一

記

日付 2016/4/2 (土)
時間 9:15 開場, 9:45-16:20
場所 近畿大学医学部附属病院 小講堂
聴講 無料

プログラム

9:15	開場		
9:45-9:55	木村 裕一	近畿大学生物理工学部	近畿大学での認知症 Core 研究の概要
9:55-10:40	石井 一成	近畿大学医学部 附属病院 早期認知症センター	認知症の画像診断 ～ MRI, SPECT, FDG-PET を中心に ～
10:40-11:25	加藤 隆司 先生	国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター	アミロイド PET: バイオマーカーとして示すもの
11:25-12:10	岡村 信行 先生	東北大学 脳科学センター	タウ PET イメージングの現状と可能性
12:10-13:40	昼休み		
13:40-14:10	木村 裕一	近畿大学生物理工学部	PET を用いたアルツハイマー病超早期診断に向けた画像診断アルゴリズムの開発
14:10-14:55	中島 一樹 先生	富山大学大学院理工学研究部	認知症高齢者のための支援機器
14:55-15:10	休息		
15:10-15:40	塩崎 麻里子 先生	近畿大学総合社会学部	がん患者の家族の後悔に関する心理学的研究: 認知症患者の家族への展開
15:40-16:10	花田 一志 先生	近畿大学医学部 附属病院 早期認知症センター	南河内地域での認知症に対する地域社会ケア体制について
16:10-16:20	石井 一成	近畿大学医学部 附属病院 早期認知症センター	閉会の辞

会場へのアクセス

シンポジウムの会場は、近畿大学医学部附属病院の2Fにあります。

附属病院へのアクセスは、http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/traffic_access.html をご覧ください。

病院2Fでの会場へのアクセスは、以下をご覧ください。当日は、案内を掲示致します。



以上